

世界における日本のプレゼンスの強化 (人間の安全保障の実現に向けて)

ODAによるマスタープランづくりや基盤整備を出発点に、民間の活動への融資や政府保証の供与、さらには民間独自の活動等を、各々の国の発展段階に応じて連携させることによって、人間の安全保障の実現を目指す。

こうした取組は、国際社会の平和と繁栄に資するとともに、我が国の強みを世界に活かすことで、日本の成長にもつながる。

< タイの洪水支援 >

「防災パッケージ」にした一括的な支援

- ・ 防災システムとその的確な運用をパッケージ支援。
- ・ 関係省庁、関係機関、産、学が連携して実施。

< アジアをはじめとする人間の安全保障 >

～社会インフラ（ハード・ソフト）整備をパッケージ支援～

○ 防災や成長に貢献するインフラ整備

（例：パッケージ型インフラ海外展開等を活用した防災事業等の支援など、官民が連携した総合的支援の推進）

○ 基礎教育支援を通じた人材基盤の拡大

（例：理数科教育のための教員養成）

○ 保健・医療・衛生

（例：保健・医療システム、廃棄物処理等の制度整備支援）

○ 高度人材の育成

（例：留学生の招致や専門家等の人材育成）